

市民との意見交換会「議会にて処理するもの」

市民の皆さんの意見・要望で「議会にて処理するもの」は次のように分類・対応しました。

○は議員個人で対応するもの、●は議会として対応するものとして、●は5月20日の全員協議会で下線部分について対応方針を次のとおり決定しました。**(対応方針は赤字ゴシック体)**

【本宮第1中学校区】

○2回続けて同じテーマはゼロからの意見交換なのか、議会からの素案があつての意見交換になるのか、もっとつっこんだ意見交換会にしてほしい。

○法人税は企業の本社があることで成立すると思うが、工業団地がうまったということだが、議会が強く要望し今後も企業誘致による雇用の増加と人口の増加を図って欲しい。

●優秀な人材が戻ってこない。意見を聞く場が欲しい。高校、大学の人たちをあつめて「戻らない理由」について話し合いをしてもらいたい。議員はばらばらな考えではなく、まとまってやってもらいたい。

→ **若者が戻って来られるような定住環境づくりに努める。なお、市民との意見交換会においても学生や若者にも極力参加してもらえよう呼びかける。**

●定住人口については大きな問題なので、あと2・3回意見交換会を開催してほしい。

→ **一般市民との意見交換会は年に1回とし、常任委員会での各種団体との意見交換会を極力開催するようにして施策に反映していきたい。また、時間配分など意見交換会の方法についても再考を要する。**

【本宮第2中学校区】

○第41号の政務活動費の広報費、要請・陳情活動費の内容について知らせて欲しい。

○会派だよりは視察、研修の報告が主で、経費をかけているわりには提言等が記載されてなく物足りなさを感じる。

○私は政務活動費を広報費に使うのには疑問があつた。今後議員間で意見交換をしてもらいたい。

○無会派の議員が多い中で、会派の調査・研究と、公式な常任委員会活動とを議会はどちらとえているのか。

○以前、会派で陳情したとことはおかしいのではないかと云った経過があつた。今回もあるが。

●常任委員会の研修において、委員長の報告ひとまとめになっている。以前のように議員個人ごとに研修報告すれば良い意見等も出てくる。個人ごとに報告を出すよう要望する。

●一任的な報告書になってしまっている事例がある。個々の感想や意見が分からない。個人ごとに出されていれば開示請求で知ることができるので要望しておく。

→ **平成24年6月の全員協議会で協議し、今のやり方にした経緯がある。研修後の委員会の中で出た意見をまとめたものを委員長が報告しており、委員会の記録は開示請求できるようになっている。**

○百年先を見据えた議論をお願いする。

○福島大学に農学部が創設されると聞いているが、その誘致について市、議会では関心をもっているのか。農業試験場も近くにあり誘致は、雇用の拡大、活性化とあわせ、五百川駅の整備

もつながるのではないか。

○本宮駅、五百川駅の立地は、それぞれ違った周辺地域の中にある。整備についても異にした考えのもとに整備を進めて行くべきと考える。特に五百川駅については、駅を核とした周辺整備の計画を立てないで、バラバラでは将来困ったことになるのではないかと。議員には市との議論を深めてもらいたい。

○本宮駅は東口整備で多額の予算を使っている。次は五百川駅の整備が先だと思う。この地区の議員、住民の方の考えを聞きたい。

●25年から30年くらい前に指定された、奥の細道第二自然道が岩根を起点としてあるが、標識がくじけて無くなっている所もあるので、確認して再築して、トレッキングやハイキングのコースとして健康づくり、体力づくりに活用できるよう検討して欲しい。また沿線の大池の堰堤が修復されているが、この池の周辺を整備し健康づくり等に活用するよう議会としても働きかけて欲しい。

→ **大池周辺はきれいに整備された。個人の判断で健康づくりなどにご活用いただきたい。**

●少子化の影響で、本宮市の人口も国勢調査等によると、年間百人くらい減少している。一番問題なのは20代から40代の女性の方々の懇談会等の参加が少ないことである。人口増加に対する取り組みには20代から40代の女性の方々や新たに選挙権を有することになる若者の考えが大きく関わってくると思われるし、施策に反映されなければならない。そのための環境づくりとして対象者やテーマを絞って開催し意見等を聞いて欲しい。また、人口が減少していく中、次世代に負債を送っていく事業等については慎重に取り組んで欲しい。

→ **意見交換会の周知の段階で特に若い世代の参加を呼びかける。**

○本宮はいい所だから住みたいと言う話を良く聞くが、なぜ人口が増えないのか。議員と市民との感覚のずれがあってはどうしようもない。市民サイドに立って対策を進めて欲しい。

○二元代表制のもと議会はチェック機関だけに終わらないで、政務活動費を活用するなどし、政策づくり集団になって欲しい。

○意見交換を行う前提として、テーマに対して議会の考えを示さないと議論にならないのではないかと。世代感の違いで核家族化が進んでいるがその辺を追及していけば定住人口の増加につながるものが見えてくるのではないかと。また、宅地開発することで固定資産税等の税収が増える、その中で地域住民の意見を聞きながら住環境の整備等を進めていけばいい結果が得られると思う。

○先日現地で外国人らが居て、ソーラー発電のための視察に来ていると言っていた。議会として何か聞いていないのか。

○会の持ち方について、型にはまらずザックバランに意見交換できるようにしないと意味がないのでは。

●教育の一環として、小・中学生を対象に子ども議会を開催して欲しい。また、18、19歳の方が選挙権を有することになるが、政治に関心を持ってもらうためと投票率を上げるため、投票にきたらスタンプを押して何回かで特典が得られるようにするとかしてはと思うが。また、今ある295億の借金の返済について説明出来ればお願いしたい。

→ **「市長に伝えるもの」でも提出している。市には学校と協議し、学校側の要望があれば開催するよう働きかける。**

【白沢中学校区】

○説明を頂いたがあまりにも早くて分からないが、1つだけお聞きしたい。ちまたで聞いた話ではあるが、駅前・駅に関係する改善・改修の事で分からないのだが、かなりの予算が必要だと聞いている。積み立ての3億円しか目には入らないのだが、全体で30億円以上かかると聞いている。予算措置など将来の事を考えているのか。もう一つ、市として予算はあるのか。議会では分かると思うが一般の市民はほとんどわからない。議会議員は住民の代表であるので市民が分からないのがおかしい。例えば1円からというわけではないが1億円以上になったら住民の方に知らせて欲しい。知るための資料が欲しい。

○少子化問題についてお聞きします。全国的な人口減少見られる中、特に児童・生徒の減少が本宮市にとっても頭の痛い問題であり、課題と思われれます。特に私が住んでいる和田小学校においては全児童が100名を切っている状況が数年続いております。児童数減少は密度の濃い授業が受けられるとか児童の絆が深まるとか利点もありますが、団体活動に支障をきたし、競争心が失われる欠点の方がはるかに多いと思います。地域の問題として少子化問題を放置しておけば近い将来糠沢小学校や白岩小学校も例外ではなくなると思います。安倍内閣の内閣府特命大臣であった森雅子様は少子化対策の第一は結婚することだ。結婚は個人の問題だから国が斡旋することは出来ないが未婚の男女の9割は結婚願望があり、行政は希望を叶えてあげる責任があると言っています。若者の男女の9割は結婚願望があるわけです。今後、議会として市当局に未婚者の結婚問題特に未婚男子の婚姻率を上げる方策とか経済的な問題として工場を誘致するとか住宅対策とか市当局に働きかけを行うのか。

○議題になっている言葉で理解できない部分がある。意見交換会①定住人口の使い方。なぜ「定住」という言葉を使っているのか。普通一般的には少子化という言葉が多い。ところが定住という裏側には、何があるのか。

●ここで話された内容をどういうふうに活用していくのか。心配です。なぜならば、以前、パブリックコメントを2回出したことがあるが、どのように利用されたのかが分からない。議員が来られて意見交換会になっているが、取り上げられないとか、抹消されたりすることが心配です。そういう事はあまり考えたくはないが、だから他で出たような内容を他の地域でもやっているのです。そうするとまとめることが必要だと思います。議会との対話を重視した議会を活性化させる住民の中から10人位モニターを募る、それで議会の傍聴会に行って貰う。議員と一緒に課題をまとめていくそういうモニター制度みたいのが一つの活性化だと思う。活性化は議員との意見交換だから議員との間での活性化で、議員の活性を狙っただけなのかと思った、最初は。全体の事を考えれば、議員も含めた住民との全体の意見交換会だと思っている。もしそうならば、モニター制度の活用の仕方がある、こういう場所の意見を聞くのではなく、常にそういう住民との意見を聞くことができるのではないのか？実施したらどうでしょうか。活性化を簡単にできる行動だと思う。是非、そういう方向で検討を頂きたい。

→ **モニター制度については考えていない。なお、議員が日常的に住民の意見をより多く聞くよう努める。**